

# ビジネス情報論⑬アンケート060710

毎回与えられた課題を図解する時に疑問に思う点が多くあった。しかし、今回の最後の講義で先生の質問の答えを聞き、今後どう図解をしていくべきかということも分かった。私は今年の夏にインターンシップに行くので図解を活かした研修をしたいと思う。

いくらか成長できたのかと思います。きっとこの経験は将来に役立つと思います。毎回頭をフルに使う授業はそんなにない。キーワードをまずは出して、とにかく描いてみるころから始めれば良いんだと分かってきたので少しずつ進歩したのかなと思います。これからも図を使った考え方というものはとっても役に立つと思う。

「自分でも納得のいく図解」・「自分で他人に説明しやすい図解」にどんどん近づいていくことができたような気がします。これからも図解をつづいて人生に活かしたいと思います。

一石二鳥であると思う。

一番感動したのは自分の頭でもやややした考えを図にすることによって整理できるようになったことです。私はまだ将来の進路で迷っているので図を描くことによって自分が本当にやりたいことを探そうと思います。

図解を身につけ、ロジカルに考えていきたい。

どんどん図にして力をつけて生きたいと思います。

授業を受けつづけることで複雑な図をどんどん書けるようになっていくので驚いた。大学での情報整理などにとっても役に立つ。また、一ヶ月、三ヶ月、半年、一年間などのスケジュールや戦略が組み立てやすくなった。一緒ものなので大事にしたい。好きな文学作品の図解へのチャレンジだ。最新の小説や伝記を図解したい。

もの語とは一つだけの答えではなくて、いくつかの答えがあってどちらが一番いいというわけでもない。人間社会はグループ社会だ。グループワークの中のメンバーをどうやって組み合わせれば作業の効率がアップできるかなど、図解で解くごともありました。単純なことを複雑に考える、複雑なことを簡単に考えるというプロセスに感心しました。今後の授業に先生も参加してもらったらもっと良いと思います。

存在事象を関連付け本質を知ることがもっとも大切であると学んだ。図解はそれを手助けするものだと思う。当初思ったより図解はとっても“大きな”ものだった。

図解をする上でポイントになるのが、物事の本質を見ぬき関係性を把握することだが、物事の本質を見抜くと言うことは論理的思考力を要するということがこの講義で何度も感じた。そして、優れた図解を描くには、自分の今まで経験したことや感じたこと、見たこと、聞いたことすべてが重要なツールになると思った。

留学生の自分にとって日本語能力を高めたと感じました。例えば、家計計画から企業の企画書まで図解の力を身につければ複雑なものを単純化することができる。

もって大切なものは物事の考え方だと思う。しかし、自分はこういう問題についてどういう意見があるか、賛成か反対かを述べて、人を説得するのに問題の本質が把握しないとできない。

全体の高みからみおろして複雑なものを簡単に理解、分かりやすく伝達する効果があるのです。特に留学生にとっては図解スキルを身につければ最高のことだと思います。中身がないと図解ができません。

私は留学生なので頭の中に日本語の言葉が何となく少ないので、これからこういう部分をちゃんとしないとだめだと思います。

文書を読み、複雑な内容が一本につながるイメージを持つことができました。

教養科目の中でこの科目が宮城大学に入ってよかったと思える時間でした。

# ビジネス情報論⑬アンケート060710

プレゼンまでセットでやりたかったと思います。やっぱり楽しいです。広告など多くの情報を、多くの数で一つのアウトプットに集約する分野は図解が必要。

他の人が講義を通して学んだことを知ってよかった。こういう考え方もあるんだなと勉強になった。

好きな分野だと予備知識も加わるので厚みのある図になる。

これまでの総まとめ的な講義であったが、他の人々の疑問に思っていることや先生のアドバイスを聞くことで少し視野が広がった気がする。私は経済分野に興味があるのでこの講義を通して学んだ図解を使って理解を深めていきたいと思う。

なかなか実習形式で進む授業は少ない中、ビジネス情報論は実習で技能を身につかせてくれた。また、他の授業と比べると先生の授業準備も十分に丁寧なものであった。

図で考えるようになって物事をすっきりと整理できるようになったと思う。特に自分の人生や目標、今やっていることなどの自分の中ですっきりと整理したいと思う。図解を自分の人生に活かしていけたら良いと思う。

図解でよいと思ったところは、“自分の理解につながる”ところであると思う。

一応成長の成果があったと思う。今回の期末レポートを書くときに図解を用いて描いてみようと思った。

物事の筋道をたてることの大切さを学べたと思います。

図解を描くことは看護の世界でも大切だと感じている。

私はスポーツマネジメントに興味があるのだが、まずは成功事例を分析したいと思った。まずはそれらを図解にしたいと思う。

何度も描いたり他の人とディスカッションをしたりしていくうちに技術がみについているような気がして本当に勉強になる授業でした。

最初は疑ってかかっていたことがなくなりました。図を描くことがちゃんとできる人は本当に仕事もできるような気がします。とてもためになる授業でした。

最近学ぶことに対するモチベーションが下がっていたのですが、また勉強したいという気持ちがわいてきました。

今後は講義の内容を図でメモにとり、授業のモチベーションアップを図りたい。